



2021年5月12日

各 位

会 社 名 日揮ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 CEO 佐藤 雅之
(コード番号 1963 東証第1部)
問合せ先 グループ経営推進部
コーポレートコミュニケーション
グループマネージャー 山上 晃弘
(TEL 045-682-8026)

業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2020年5月19日に開示した2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 2021年3月期通期連結業績予想と実績との差異(2020年4月1日~2021年3月31日)

(金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (2020年5月19日発表)	480,000	20,000	23,000	8,000	31.70
実績値 (B)	433,970	22,880	25,506	5,141	20.37
増減額 (B-A)	△46,029	2,880	2,506	△2,858	—
増減率 (%)	△9.6	14.4	10.9	△35.7	—
(参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	480,809	20,234	22,367	4,117	16.32

2. 差異の理由

2021年3月期通期業績予想において、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関して、期中に当社グループの事業環境が正常化するとの想定を置いておりましたが、それとは異なる状況で推移し、現在に至ってもなお収束の兆しが見えておりません。こうした状況の下、売上高については、期待していた期末にかけての工事進捗率の急回復に至らず業績予想を下回りました。

営業利益、経常利益については、国内外の複数の案件における採算改善や販売費及び一般管理費の抑制により業績予想を上回りました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益は米国の石油・ガス販売事業において原油価格の低迷により減損損失を計上したこと、またアラブ首長国連邦での発電・造水事業において売電・売水契約の期限延長が困難な見通しとなったことから投資有価証券評価損を計上したこと等により、業績予想を下回る結果となりました。

以上